

LSI札幌クリニック PETドック・目的別コース 検査項目一覧表

カテゴリ	項目	PET人間ドックコース			目的別コース	
		PET ベーシック	PET エグゼクティブ	PET ロイヤル	PET がん検診	脳ドック
フィットネス	内臓脂肪測定 骨粗鬆症			●		
内視鏡	胃カメラ			●		
心臓	心筋SPECT (BMIPP)			●		
	エコー (心臓)			●		
	心臓 (採血)	BNP CKMB トロポニン		●		
脳	MRI検査 (脳)		●	●		●
	MRA検査 (脳血管)		●	●		●
	MRA検査 (頸動脈)		●	●		●
	エコー (頸動脈)		●	●		●
認知症	VSRAD			●		
がん	体幹PET/CT	●	●	●	●	
	MRI検査 (骨盤部)		●	●		
	CT検査 (胸部)	●	●	●		
	CT検査 (上腹部)	●	●	●		
	エコー (甲状腺)	●	●	●		
	エコー (上腹部)	●	●	●		
	エコー (経腹壁骨盤部)	●	●	●		
	胃がんリスク (採血)	胃部ペプシノゲン、ピロリ菌	●	●	●	
	便中ヘリコバクターピロリ抗原	●	●	●		
	便潜血 (1日法)	●	●	●		
	便潜血 (2日法)			●		
	肝臓がんリスク (採血)	HBs抗原 (B型肝炎ウイルス)	●	●	●	
		HBs抗体 (B型肝炎ウイルス)	●	●	●	
		HCV抗体検査 (C型肝炎ウイルス)	●	●	●	
		腫瘍マーカー AFP「肝臓」	●	●	●	
	腫瘍マーカー (採血)	CEA	●	●	●	●
		CA19-9「膵臓・胆道」	●	●	●	●
		PSA「前立腺」	● : (男性)	● : (男性)	● : (男性)	● : (男性)
		CA125「卵巣」	● : (女性)	● : (女性)	● : (女性)	● : (女性)
		サイログロブリン「甲状腺」	●	●	●	●
		IL-2R「リンパ腫」	●	●	●	●
		CYFRA「肺、卵巣・乳」	●	●	●	●
		NSE「肺」	●	●	●	●
		ProGRP「肺」	●	●	●	●
		DUPAN-2「膵臓・胆道・肝臓」	●	●	●	●
		PIVKA-II「肝臓」	●	●	●	●
		抗p53「食道・大腸・乳」	●	●	●	●
		SCC抗原「肺・子宮」	●	●	●	●
計測 (身長・体重・腹囲・BMI)			●	●	●	
血圧測定	●	●	●		●	
視力検査		●	●			
聴力測定		●	●			
心電図検査 (安静)		●	●		●	
眼底		●	●			
眼圧		●	●			
呼吸機能 (スパイロ)		●	●			
尿検査	糖・蛋白・潜血		●	●		
	ウロビリノーゲン・ビリルビン定性 比重・PH・ケトン体・沈渣		●	●		
貧血 (採血)	血球検査 (赤血球・白血球)	●	●	●	●	
	血色素・ヘマトクリット・血小板数	●	●	●	●	
	MCV・MCH・MCHC	●	●	●	●	
血液像 (採血)	フェリチン	●	●	●		
	血清鉄	●	●	●		
糖代謝 (採血)	血液像	●	●	●		
	空腹時血糖	●	●	●	●	
代謝系 (採血)	ヘモグロビンA1c (HbA1c)	●	●	●	●	
	インスリン	●	●	●	●	
脂質 (採血)	尿酸 (U-A)	●	●	●	●	
	総コレステロール (T-Cho)	●	●	●	●	
	HDLコレステロール (HDL-C)	●	●	●	●	
	LDLコレステロール (LDL-C)	●	●	●	●	
肝機能 (採血)	中性脂肪 (TG)	●	●	●	●	
	AST (GOT)	●	●	●	●	
	ALT (GPT)	●	●	●	●	
	γ-GTP	●	●	●	●	
	総ビリルビン (T-Bill)	●	●	●	●	
	LDH	●	●	●	●	
血清蛋白 (採血)	ALP	●	●	●	●	
	総蛋白 (TP)	●	●	●	●	
膵機能 (採血)	アルブミン	●	●	●	●	
	A/G比	●	●	●	●	
腎機能 (採血)	血清アミラーゼ	●	●	●	●	
	尿酸窒素 (U-N)	●	●	●	●	
電解質 (採血)	クレアチニン (Cre)	●	●	●	●	
	ナトリウム・クロール	●	●	●	●	
	カリウム	●	●	●	●	
	カルシウム	●	●	●	●	
炎症反応 (採血)	リン	●	●	●	●	
甲状腺機能 (採血)	CRP (高感度)	●	●	●	●	
	FT3, FT4, TSH	●	●	●	●	
サービス	抗サイログロブリン抗体	●	●	●	●	
	医師による診察		●	●	●	
	医師による結果説明		●	●	●	
	朝食		●	●	●	
	特別室		●	●	●	
市内送迎			●	●		
ホテル宿泊			●	●		
特製結果ファイル			●	●		
定価		¥128,000 〔3時間〕	¥190,000 〔5.5時間〕 脳検査抜き料金 ¥160,000 〔5.5時間〕	¥400,000 〔7.5時間〕 心臓検査抜き料金 ¥270,000 〔7時間〕	¥98,000 〔2.5時間〕	¥32,500 〔2.5時間〕

※価格は全て税抜表示です。

L S I 札幌クリニック 人間ドック検査項目一覧表

カテゴリ	項目		人間ドック		
			スタンダードコースA	スタンダードコースB	
内視鏡	胃カメラ			●※1	
がん	CT検査(胸部)		●	●	
	CT検査(上腹部)		●	●	
	エコー(上腹部)(肝臓・胆嚢・腎臓・膵臓・脾臓)		●	●	
	胃がんリスク(採血)	胃部ペプシノゲン、ピロリ菌	●	●	
	便潜血(2日法)		●	●	
	肝臓がんリスク(採血)	HBs抗原(B型肝炎ウイルス)		●	●
		HBs抗体(B型肝炎ウイルス)		●	●
		HCV抗体検査(C型肝炎ウイルス)		●	●
		腫瘍マーカー AFP「肝臓」		●	●
	腫瘍マーカー(採血)	CEA		●	●
CA19-9「膵臓・胆道」		●	●		
PSA「前立腺」		●:(男性)	●:(男性)		
CA125「卵巣」		●:(女性)	●:(女性)		
人間ドック	計測(身長・体重・腹囲・BMI)		●	●	
	血圧測定		●	●	
	視力検査		●	●	
	聴力測定		●	●	
	心電図検査(安静)		●	●	
	眼底			●	
	眼圧			●	
	呼吸機能(スパイロ)			●	
	尿検査	糖・蛋白・潜血		●	●
		ウロビリノーゲン・ビリルビン定性		●	●
		比重・PH・ケトン体・沈渣		●	●
	貧血(採血)	血球検査(赤血球・白血球)		●	●
		血色素・ヘマトクリット・血小板数		●	●
		MCV・MCH・MCHC		●	●
		血清鉄		●	●
	血液像(採血)	血液像		●	●
	糖代謝(採血)	空腹時血糖		●	●
		ヘモグロビンA1c(HbA1c)		●	●
	代謝系(採血)	尿酸(U-A)		●	●
	脂質(採血)	総コレステロール(T-Chol)		●	●
		HDLコレステロール(HDL-C)		●	●
		LDLコレステロール(LDL-C)		●	●
		中性脂肪(TG)		●	●
	肝機能(採血)	AST(GOT)		●	●
		ALT(GPT)		●	●
		γ-GTP		●	●
		総ビリルビン(T-Bill)		●	●
		LDH		●	●
		ALP		●	●
	血清蛋白(採血)	総蛋白(TP)		●	●
		アルブミン		●	●
	膵機能(採血)	血清アミラーゼ		●	●
	腎機能(採血)	尿素窒素(U-N)		●	●
		クレアチニン(Cre)		●	●
	炎症反応(採血)	CRP(高感度)		●	●
	医師による診察			●	●
	サービス	医師による結果説明		●	●
	追加項目	血液型	ABO、RH		(初回のみ)
		梅毒	TPHA 定性		●
		胸部X線撮影	直接撮影(2方向)	(希望の方のみ追加)	(希望の方のみ追加)
	定価			¥43,000 『2.5時間』	¥79,000 『3時間』※

※胃カメラは別日に、連携医療機関「さっぽろ大通り内視鏡クリニック」での実施となります。

※1 胃バリウムをご希望される場合には別途ご相談下さい。(フリーダイヤル:0120-151-866)

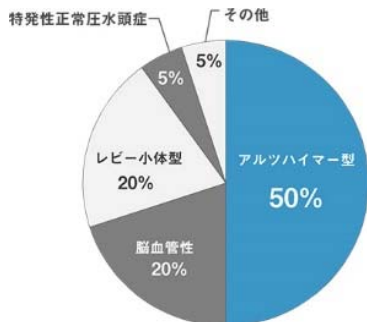
※2 「採血結果を含めた結果説明(一部を除く)」をご希望される場合は、検査時間に加え1時間程お待ちいただきます。

※3 価格は全て税抜表示です。

発症前のアルツハイマーの予兆をとらえる βアミロイドPET

認知症の原因とアルツハイマー病

厚生労働省によると、認知症患者は2025年には700万人を超え、65歳以上の5人に1人が認知症に罹患するという推計値が発表されています。



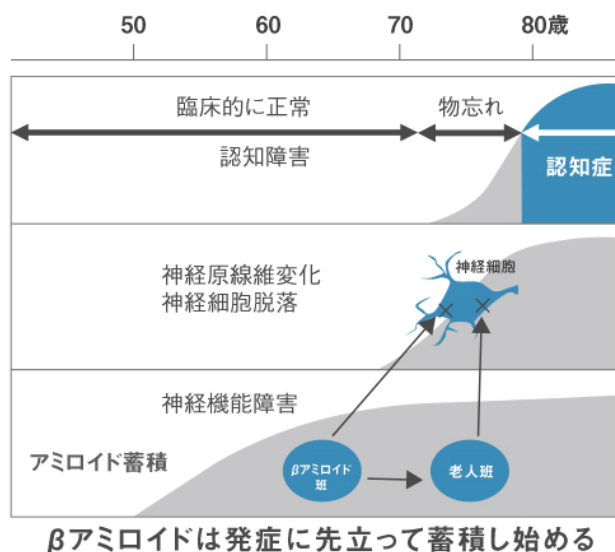
(出典:2015年1月厚生労働省「新オレンジプラン」)認知症の原因の約半数は、アルツハイマー型認知症です。近年、脳内にβアミロイドと呼ばれる異常蛋白の蓄積がアルツハイマー病の原因ということがわかってきました。

βアミロイドPET (FMM PET)とは

体にPET診療用放射性薬剤([18F]Flutemetamol)を注射します。投与後約90分で検査薬が異常蛋白と結合します。その後、PET装置にて頭部を撮影し、脳内の異常蛋白の蓄積をカラー画像で診断します。認知障害の発症前に異常蛋白の蓄積を画像化、10~20年後のアルツハイマーの予兆を診断します。

アルツハイマー病とβアミロイド蛋白

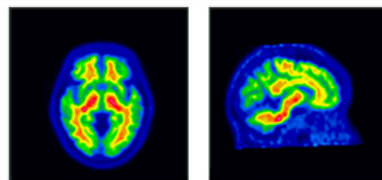
βアミロイドと呼ばれる異常蛋白は、発症の10~20年前から脳内に蓄積しはじめ、それが神経の機能障害や細胞障害を引き起こし、認知障害が現れるといわれます。早期発見による早期治療開始は有効とされており、薬物療法や生活指導、トレーニングといった適切な治療で発症を遅らせることはできます。



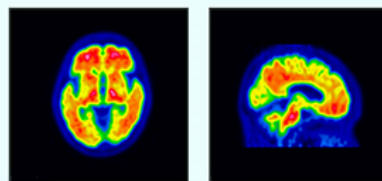
脳のβアミロイド沈着を画像イメージ化



正常
(βアミロイド陰性)



異常
(βアミロイド陽性)



検査時間	検査項目	価格
4時間	①PET([18F]FMM)検査 ②認知機能検査 ③結果説明(当日説明可能な範囲)	450,000円 (税別)